

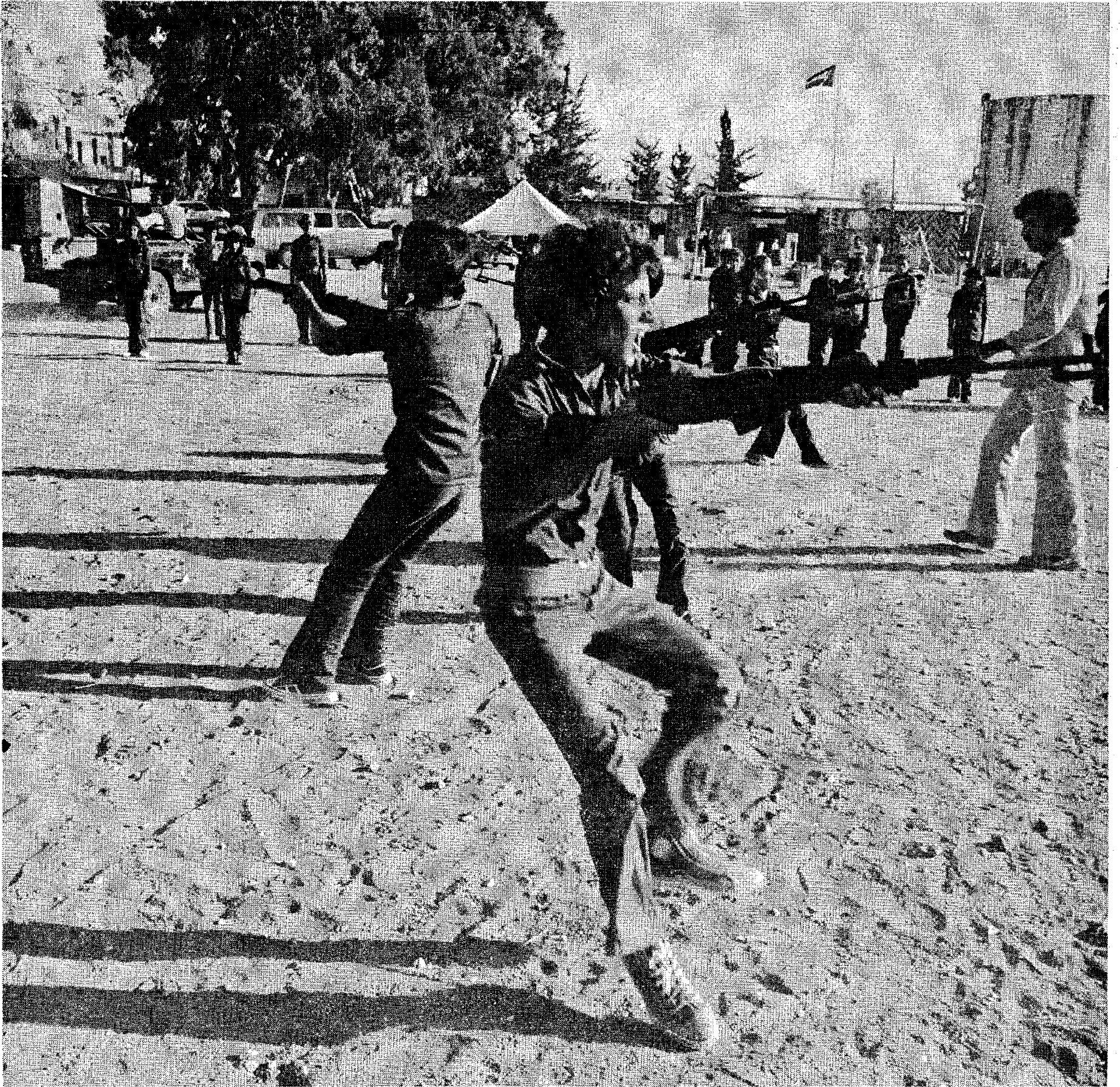
The JINMIN-SHINBUN
(The people's newspaper published every ten days)

The JINMIN SHINBUN
Yasuda Bldg. 3F
5-3-22 Tenjinbashi,
Kita-Ku, Osaka, JAPAN
Tel. 06-351-9436, 06-358-4376

Subscription:
One year 10,000 Yen
(include air mail postage)

人民新聞

1979年 1月5日 通巻第343号
昭和43年12月12日第三種郵便物認可 5、15、25日発行
発行所 人民新聞社 1部100円 購読料半年間2000円
本社 大阪市北区天神橋5丁目3番22号安田ビル3階
電話 06 (358) 4376 (351) 9436 振替口座大阪88555
東京多摩支局 立川市柴崎町3-6-3 風林舎内
電話 0425 (22) 5429



飛べ！勝利へ向かって 難民キャンプで軍事訓練に励むパレスチナの少年たち

新年おめでとう。波乱の一九七八年もようやく暮れた。
『波乱』のといったが、勿論その背景は未曾有の経済危機に
ある。長く続く不況に大小無数の企業が倒産し、多くの労働
者が首を切られた。首を切れないまでも全体的に、これよ
い企業で、減量経営と称した合理化がすすめられ、『減る
も地獄』の職場を現出しようとしている。政治的にもこれら
のことをバックアップして、右翼パネが強く働いた。成田
空港開港から有事立法に至るまで、ファシシ化への道を切
り開くと思われる施策が次々と打ち出されていった。
人民の闘いも、三里塚の三月二十六日の闘争の様に激しく闘
われ、首切り、合理化に対する闘いも一層激化しつつある。
今年も又、この様な傾向は一層強まってゆくであろう。内閣
が福田から大平へと変わるとも、この基調は変わらないだろ
う。一九七九年も間違いなく、『波乱』の年であろう。人民に
とって有利な『大波乱』の年を願って、一層闘いを強めよう。
(富)

日本赤軍の総括が始まったこの一年、ヒ・コラ言いが
ら、目を離し直し問い直して来た。総括しなければ前に進
めないという事がよくよくわかって来た。自らのあり
様を根本の所まで変革する必要性のないような、あまいな
自己満足ではダメだと思ふ▼この年末、日頃めった
に外に顔を出さない活動家を幾人か訪ね歩いた。その中で一
番印象に残ったのは、太田場の定年まぎわの老
活動家だった。『労働者の心をこらえきれず、
労働運動も革命もない。自分の思い込みで労働
者の要求を勝手にわい小化し自分の好みの戦闘
的スタイルで運動をする。さくさくは労働者と
話もできず、自分の好みで思い込みでは前には
進めない。失敗しても自らの責任として徹底し
て追及する事なくインスタントに次に行く。
『あれがダメならこれ』、繰り返しはもうそろそろ卒業しな
くてはならない。』この情勢の深まりに対応できる革命主体
は、小手先のテクニクや手前みそな原理屋で形成されるも
のではない。しんどい事だが、日本の革命に責任を持つとい
う立場からこの情勢に 대응する責を自ら一人一人が徹底して
追及してゆかなければならないと思ふ。
(東)

この一年火焔に、糧を相当して同じ事はかりついで書い
てきたと思う。その事を奮闘したというより、それしか書け
なかったというのがいつも現状だ。しかし一向に進まぬ
自分に嫌気さへおぼえている時『自分を正しくなろうと思
うな。全国にいる多くの仲間、自分と同じように悩んでいる
うな所で毛々々し行き詰まっている仲間ととも正しくな
ろうと思え。進まないのは自己批判がなく実践がないから
だ』と批判されて、いままでいまいもててきたものが、
少しづつはつきりしてきたように思う。この欄を通じて今年
は、もともと全国の諸君と交流しようと思ふ。遠慮のない批
判をどうぞ▼昨日、連合赤軍の仲間が死刑判決への報道、敵に
対する怒りが収めてこみあげてくると同時に何ともいえない思
いが私の胸をよぎる。連合赤軍の闘いは一つの時代の終り
であり、新たな出発点にあった。彼らの歩んだ道は私たちの
歩んだ道である。あの時のくやしきは一生忘れられることはでき
ない。揺るぐことなき戦闘心と階級的黒魂の休得と広範な労
働者階級の方の結束をめざして頑張ろう。
(青)

胸はり眼輝かす労働者

熱氣はアルバートにも伝播している。左翼連合は早速、全国一斉に激励のピラミキをやっている。

闘いの中で労働者の心の中にいつかうき喜びと自信は、何ものにも変えられない財産である。八〇年代に向け逃亡を開始した資本をおしつぶすのに必ず生かされるだろう。

せて笑ひ合う。郵政局からやつて来る「人管」(郵政局人事部署管理課の略称だが、郵政局から看視に來る奴に対して全通労働者はみなこう呼んでゐる)は一番の害

様々な憶測が流れている。「何かウラがありそうや。ケツかい」といって、反対派の活動家が飛び出すのを待っとるんじゃないか。それで、

めに、失地回復を図って今回の闘争を組んだとしても、それらの悪感を起えて燃えあがっているのは間違ひない。中央がひびくべきは

かわれたこの財産は、資本家がこつこつと積み重ねてゐる財産と違つて、何ものによつてもこわすことのできない財産だ。

を拒否させる一方で、これまでの時間給四百九十円(局)によってバラバラであるが)を全員一律六百円にし、何とか不満をさし、ア

釜ヶ崎越冬
連帯集会開く

大阪

今、全通の労働者は燃えている。ある中年の労働者は夜、自宅から全通中央に電話し「本気で年賀を吹っとばさんかたら承知せんて。あんたらさえその気になつたらワシらはとことんやる」とハッをはけたそぞだ。いつも配達で顔を会わす青年労働者は、いつ

になく胸を張り目を輝かせ「きのう課長の奴と大ゲンカしたつた」と元気がいばいである。また、別のある支部では職場でカラオケ大会を開いたところ、我も我もとマイクをとり、何十曲も歌が続いた。まさに物ダメムーバーだ。

今、全通労働者は誇りと解放感で文章を言ってくる職制がある。『おい、今度はあつちだ』

「これは、どうも何人かいる求力休みが今度なにかの競争では誰もない。誰もが無くてしょうがないのだ。」

活動家のA君は、「全通中央が掲げている二十九項目要求を、何人の全通労働者が知ったるだろう」といふのだが、そんな事は問題じゃない。

りあがっているが、そこでたまにた物（ぶつ）をはくのも含め、年末年始のアルバイトが大量に雇われていて、そして、これまで悪条件で雇われてきたアルバイトの労働者も組合を結成し闘いに起ちあがった。

今月十八日、総評全国一般の労働者

せよ。雇用者である東京東部部の各郵便局長に対して団体交渉を申し入れた。

南葛一般労組がアルバイトを組織したきっかけは、「一人で物が入できる」という組合の宣伝を聞いた人が組合に相談を持ち込んだこととで、その直後に加人を呼びかけた

「ほくろの国身も、こんなに一度に
広がりマスコミにもとりあげらわ
たりして驚いている。賃金が低い
のをはじめ労働条件が目茶苦茶な
のが広がった原因だが、アルバイ
トが起ちあがり、これが更に広が
っていったら、全通の反マル生闘
争の支援にもなると思う。アルパ

で年内が勝負であり、例えは不当労働行為にしても解決した時には組合員がもういなかったということよ。さなケースも考えられる。しかし、これは今回限りの事ではないし、毎年アルバイトが雇われる度に広げていこうと思っている。ま

「今年一年いろいろな事があったが、ぜひとも二三の事を報告したい」と切り出し、釜ヶ崎解放会館が設立された事と暴力飯場中崩組の闘いについて述べた。

アルバイトに呼びかけも

全遼労働者の闘いが注目を集め

てゐるさなか、去る十八日、左翼連合は全国一斉に激励のピラをまいた。東京だけで二、三十層、更に大阪、兵庫、北九州と北海道では札幌と釧路で行われた。

左連大阪は大阪中郷の入り口で、朝出勤してゐる労働者に一枚一枚ビラを手渡した。中には、ビラを受けとつて中に入つてからもう一度出てきて、「この友達にビラを下さう」と言つた労働者もいた。

一方、北大阪合同労組も二十日に高槻で、翌日は豊中で激励のピラをまいた。併せてアルバイトに「北合同に入っていっしょに闘おう」と訴えた。南葛一般に一週間で四百人が集まっただけに、北合同のピラまきも今後は注目される。

在日韓人政治犯救援訴之

在日韓国人「政治犯」の家族及び救援運動をおこなっている人たちは百二十人あまりは、十月十四日内閣・外務省・法務省に対して交渉をおこなった。交渉のなかでは市民に訴えた。交渉のなかでは個別の具体的要望事項についてはいいだした。

入国は認めるが、原状にもどすとはできないとの態度に終始した。

外務省に提出した要望——①死刑が確定している崔哲次・陳斗鉉・白玉光 李哲・康京憲・姜宇奎六氏の死刑執行即時停止の措置を

ては事実を調査しかるべき方法で
善処する」といひながら、韓國政
府に文書で正式に申入れよとの要
望についてはかたくなに拒否し
た。

在日韓国総領事館

とて今年は、段と厳しい冬が予
想される」と訴えた。

その後で越冬寒の炊事班が「我々
はどんな弾圧、いやがらせを受け
ようとも仲間との生命は仲間との
綱で守ることを合言葉に、石にか
じりついても炊き出しを続ける決

くらの前進がみられたものの、日本政府の「政治犯」に対する基本姿勢についてはむしろガードを硬くしていることがうかがわれ、運動の更に一層の拡大強化が要請されている。

人権擁護局の加藤総務課長は「国によって人権思想は異なるが、人権に国境はないとの態度で取り組む。主権侵害になるようなら、しでかましい事はできないが、在日韓国人の恤々の要求については文書で韓国政府に申入れること⑧」

構するよう正式文書で韓国政府に申入れる事⑨徐俊植氏の「社会安全法」適用による再投獄を中止し、全ての在日韓国人「政治犯」の即時無条件釈放を行うよう正式文書で韓国政府に申入れること⑩

副議長にもあい、社会党の十六人の議員が連署した要望書を手渡した。従来の交渉が議員を介した代表との交渉に終っていたのにくらべて今回の交渉は参加者全員と当局者が会い、直接やりとりすると

政府人権

日韓国人政治犯の救済

意です」「どうか米ひとにぎり力
ンパに協力して下さい」とカンパ
を訴えた。参加者は一段と大きな
拍手で応え、会場で回されたカン
パ袋にも次々と金を入れていた。
平和台病院労組の支援アピール

十一月十二日、法務省に救援「できたたけ対応してきたい」、「釈放された人で日本での再入国と運動の側が提出していた二項目の伊藤宮憲議官は刑期満了書の再要望」①在日韓国入政治犯の日本への再入国に就いて「韓国政府は誠実な取組みをおこなうこととで変えることはできないが、法が許す範囲のなかで人道的見地から入国について」「韓国政府は誠実な取組みをおこなうこととで変えることはできないが、法が許す範囲のなかで人道的見地から入国すること」②吉田入政局長発言「最大限の努力はする」といい、再いし保釈、行方不明等、消臭不明

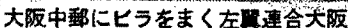
いう方式をとった。政府も対応をかえざるをえないほど運動は広がりをみせた。しかし先月の朝鮮統一国際会議代表の入国問題にみられるように、外国人が日本で政府批判をするなんてとんでもないと

いふ態度を、かえていふところから

在

や東京から駆けつけた山谷日雇労働組合のアピールなどもあり、集會を終えた。

なお、九月の初めに鍵の開かれた海道公園にまたしても先日再び鍵がかけられた。



アルバイトも決起

恐れた郵政省、時間給を百十円アップ

全通の反マル生闘争が大きく盛りあがっているが、そこでたまたま物（ぶつ）をはくのも言め、年末年始のアルバイトが大量に雇われている。そして、これまで悪衆

一年始アルバイトの労働条件を改善せよと、雇用者である東京東部の各郵便局長に対して団体交渉を申し入れた。

南葛一般労組がアルバイトを組むのははじめ労働条件が目茶苦茶な

りがとうございました」と言っていて稲垣釜口労働委員長が一年間の闘争を報告した。稲垣委員長は「今年一年いろいろな事があったが、せむとも二つの事を報告した方がいい」と切出し、釜ヶ崎解放会館

件で雇われてきたアルバイトの労働者も組合を結成し闘いに立ち上がった。

今月十八日、総評全国一般の南葛飾一般統一労組は、全通東京東部地区本部と共に、郵便局の年末一週間ほどで約四百人が加入して

の広がった原因だが、アルバイトが起ちあがり、これが更に広がっていったら、全通の反マル生闘争の支援にもなると思う。アルバイトにペンキを投げつけたのも全く意味がない。ただ、今のところ

し、これは今回限りの事ではないし、毎年アルバイトが雇われる度に広げていこうと想っている。また、『常勤の非常勤』（暑期間雇用にされているが身分はアルバイ

の闘いについて述べた。

続く基調報告では越冬寒を代表して深田金日労働書記長が「七五年をトシ底にして就労人員ははっきりと上向いてきている。しかし、

（最終回）

現実からの出発を

何も生まぬ教条主義

何も生まぬ教条主義

たことは関係ない連中がやるからで
す。一八七一年のパリ・コミュー
ンがそうです。これはマルクス主
義者じゃなくって、フランス革命
の伝統を引く人たち、フランス
主義や、バクティン主義者たちで
す。ヨーロッパが駄目だと思っ
て、ロシアに目をつける。その頃
はマルクスの視野も拡がっていま
した。先ずアイルランドについて
考え、資本主義がアイルランドの
発展に悪い影響を与えていること
に気づく。ロシアだけでなく、オ
リエント（中東）やシナのことま
で研究しはじめていた。そしてロ
シアやシナの社会基底が西ヨー
ロッパとちがうことを発見、このよ
うな社会では、その社会の基底に
ある共同体を發展させることによ
って共產主義に向いうると思つた。
またそのために共同体の發展をお
さへつてゐる有害な影響を取り
のぞくことであるとし、そのよう
な政治路線をもつていふテロイド

われ、彼らは資本論がロシアにあつてはまると考え、マルクスに文句をつけました。そこでマルクスは「一八八一年、有名なベラ・ザスリチへの手紙を書き、その中でも一度ナロードニキ支持を明確化しています。そこでロシア・マルキストたちは甚だ不満に思い、その手紙は机の引き出しにおしこんでしまいました。このロシア・マルキストの中からレーニンが登場してきます。このペテルスブルグ大出の秀才は資本論ばかり読んで、資本論マルキストとなり、ロシアに資本論があてはまると考え、革命の主力は労働者であると考へました。そして同じ考え方に立つ第二インターナショナルに加わりました。

だがロシア革命はレーニンの予想したようにはならなかった。一九〇五年の第一次革命も一九一七年の革命も農民が立ち上がったのです。一九一六年、レーニンは第

した。一体インディオの抹殺や奴隷狩り、奴隷貿易が帝國主義でなく何でありましょう。レーニンが本当の革命家だったら、辛亥革命で大播れにゆれている中国、反トルコ反乱で立ち上がるアラブ、イギリスの支配に抗拒して立ち上がったニアザランド（現マラウイ）のチレムブワエの反乱などを見、ロシアの農民はいかに闘うべきかを書いていたでしょう。戦争不可避性論などどっちでもいいことです。要するにレーニンは、第一次大戦で資本論的マルキシズムが破綻したので、その対応策を講じていたのです。

一九一七年、ナロードニキの流れをくんだ社会革命党（エス・エル）の指導によって、農村が一斉に立ち上がり、共同体をベースにしてつぎつぎとソビエトが構成される。あわてたレーニンは、それまでの「段階革命論をなぜ棄て」「ソビエト共和國に向けて前進せよ」

は賛成している。このあたりはまあまあよかったのです。

ところがそのあとがよくない。例のプレストリットウスク条約問題です。このドイツがおしつけてきた条約に頭を下げてしまったのがレーニンです。左翼エス・エルは農村ゲリラによってドイツとの戦争を統行することを主張しました。どうしてレーニンは頭を下げたのか。ボルシェビキは都市にしか根をもっていないから、ドイツ軍に都市を占さえられたら根がなくなると考えたからです。ロシア人口の九〇％を占める農村に依拠するエス・エルは都市ぐらゐとられたって何ともないと、いわば半沢半式に考えていたんです。孤立したレーニンは今度はツァーの軍隊と警察と組んで、エス・エルの大強圧にかかり、農村ソビエトを片端からつぶしてしまいました。たちまちにしてツァーリズムは復活、官僚警察、監獄国家出現

当然のこととして、このインターナショナルは、世界革命の先頭に立つ主力は資本主義國の大企業労働者である。

たゞこの中で例外があります。中国です。ここでは毛沢東というきわめて創造的な革命家が現われ、マルクス・レーニン主義を洋ハコとしてしりぞけ、農村根拠地論路線をつくり出し、革命に勝利し、さらに経済建設でも卓著と云つて、人民コミューンの発ちが、人民コミューンの発展、つまり農村共同体の発展を、マルクスとするような方向をとりました。これは晩年のマルクスのいったことと一致しています。しかしながら毛沢東は普遍的な意味で自分の考えを位置づけ理論化をせすじまいでした。また中共も教条主義に囚はれてか、それによって

深部です

主体と根

義國の革命運動も容易に進展しないという状況もまた生れてきました。

すむ革命

根拠地建設へ

いません。そのためマルクス・レーニン主義との相異性、さらにはマルクス・レーニン主義の反革命性を明確化させず仕舞いになっています。だから國際的、客觀的に中共が負けた形になってしまいました。

第三世界から見るとこの中・ソ論争などどちらでもないという事です。日本の人たちは中国は反米帝を強く叫ぶから、第三世界の解放運動、特に武装闘争している解放運動は中國派だろうと見る向きがあったようですが、必ずしもそうではありません。中・ソ問題ではベトナムにならえというのが

義の神話をすて世界革命という視点に立つてマルクスから今日までを全面的に洗いなおして見るべきときではないでしょうか。

また久しくかえり見られず理論化の遅れた無政府主義も検討して見る必要があります。フランス革命でもバリ・コミューンでも無政府主義者は大きな役割を演じていますし、十月革命だってそうです。ボルシェビキなど右往、左往していて最後に反革命をやらかしたんです。無政府主義者にはマルクスの様なブルジョア近代主義的なものがない点が注目されます。

最初に第三世界ではこうした集会のできる国は殆んどないとしめました。また第三世界に革命的情勢が生れてくるのは大分先のことだと申しました。しかし見落してならないことは、革命化は深部において進行しているということです。非常に困難な状況の中で進んでいます。

八〇年代に向け 逃亡を開始した資本

米中國交回復という衝動的な出来事を最後に一九七八年は終った。今、我々がその出発点に立った一九七九年が、まさに世界史な転換の年となる事を示唆する出来事であった。オイルショックに始まる戦後世界体制の動揺は、日中國交回復にはじまり、イラン人民の決起、米中國交回復へと至る昨年後半の推移の中で一挙に崩壊過程へと突き進んだ。この崩壊過程は、ルーマニアのソ連離れ、ベトナム・

カンボジア間の紛争にもみられるように社会主義体制さへも巻き込んだ全世界的規模で進行している。

このいわゆる五五年体制崩壊の渦中において日本資本主義は出口のない、一層深い危機に追い込まれている。OPECの原油値上げを始めとする第三世界との矛盾、アメリカ、ECとの帝國主義間矛盾の激化を外にひかえ、内に資本の内部矛盾をかかえながら、治安立法、一般消費税等、ますます人民との対立を自ら拡大する道を歩み続けている。

(2)

この世界体制の崩壊から再編へと向う過程の中で、戦後世界の中で培われてきたあらゆる概念や価値感が今大きく揺らぎ始めている。人民の生活環境は大きく変化し労働者階級の生活、考え方は、大きな転換を余儀なくされている。

何の価値も持ち得なくなった事を示している。かつて高度成長の下で、支配階級によって作り出されたルールや許容範囲を主たる政治表現の場としてきた労働者階級はいま現象的には政治離れ、右傾化という過程を経ながらも、着実に自らの政治表現の手段をつかみ始めている。各地で端緒的人民的に表われている他階層人民の闘いへの参加、あるいは有事立法問題にみられた全人民的政治課題への関心の高まりは、革命主体形成の条件が着実に整いつつあることを示している。

命に向て組織しなければならぬ革命勢力の弱体という現実が、革命の側の危機としてますます深刻に我々にせまってくる。

戦後、日本共産党が修正主義に転落してゆく過程で生まれてきた我國の革命勢力はすでに二十年近い経験を経てきた。

だが我々は今なお人民からの不信類、その内部の不團結という致命的な弱点を克服しえていない。高度成長という資本の相対的安定期の中で、我國の革命勢力はその弱点を自己の存在そのものに關わる

が飛躍的に強化され、一方高度成長末期に発生した様々な人民の闘いの多くが行きづまりをみせ始めた今、我々は革命主体のもつ弱点を徹しく闘い、これを一つ一つ克服するに着手しない限りもはや一歩も前進することはできない。

加速度的に速まる歴史の転換の中で、今我々は歴史を我々の手ににぎりしめることのできる時代に生きている。

大胆に闘いに決起し、高度成長下のよどみきった思想を吹っ飛ばそう！

いたのですが、毛沢東の農村根拠地論は誤りであり、長征もあまりであるとし、都市・農村同時平行革命論を出していました。そして毛語録を始め、一切の毛沢東文献の購読を禁止しました。

七十年代に入り、中国がアメリカと結び、さらに「三つの世界」論が出されると第三世界の解放運動は一帯に中国から離れるようになりました。今夏中東に旅行したバレスチナ連帯訪問団の人たちはバレスチナの戦士たちが反中国であり、それだけ親ソになっているのに驚いたようですが、これは七四年に鄧小平が国連で「三つの世界

これだと思えます。

パレスチナについては、主体性の確立が強く要望されています。国際状況が複雑なので仲々むずかしいことなのですが、ローデシアのムガベの率いるZANU（ジンバエ・アフリカ人民同盟）の武装闘争が闘い通せば主体性が生れてくるでしょう。またこうした戦いが横に拡がってゆくことが期待されるのです。

共同新植民地となった第三世界からの取寄はより強まり、またそこでの食糧の格差は増大しています。これから第三世界は分裂と抗争の時代です。この中から次第に

(附)

世界に広げて人民の組織化を

日本の闘いの孤立痛感

人民新聞海外特派員報告から

—今日は、日本における革命主体の形成という問題を軸にして、一九七八年を振り返り、来年、更に八〇年代を展望する。人民新聞海外特派員報告から、日本における革命主体の形成という問題を軸にして、一九七八年を振り返り、来年、更に八〇年代を展望する。

今日、日本における革命主体の形成という問題を軸にして、一九七八年を振り返り、来年、更に八〇年代を展望する。人民新聞海外特派員報告から、日本における革命主体の形成という問題を軸にして、一九七八年を振り返り、来年、更に八〇年代を展望する。

参加者

上坂喜美 (三陽連代表)
砂場 徹 (左翼連合代表)
高木 豊 (人民新聞編集)
西村 卓司 (長 船務組)
山川 曉夫 (M.A.P.主幹)
渡辺 雄三 (人民新聞編集)

後半、人民新聞海外特派員報告から、日本における革命主体の形成という問題を軸にして、一九七八年を振り返り、来年、更に八〇年代を展望する。

スト知らぬ労働者

職場でも一人ぼっち

—いろいろ、かみ合ひと、職場でも一人ぼっち。職場でも一人ぼっち。職場でも一人ぼっち。

座談会

革命主体の形成をめざして

九大出場のエリート関係という。九大出場のエリート関係という。九大出場のエリート関係という。

政治に直面する人民

指導部は弱点を露呈

—それは山川さんらしく、政治に直面する人民。指導部は弱点を露呈。指導部は弱点を露呈。

来た。西村さんも触れた。来た。西村さんも触れた。来た。西村さんも触れた。

さらけだしてしまつた。それは。さらけだしてしまつた。それは。さらけだしてしまつた。

有利な条件が生れてきたにもか。有利な条件が生れてきたにもか。有利な条件が生れてきた。

民運動との結合というところから大切なところだと見ています。つまり二四時間の生活が描さられて来ている。そして基本が

(九面下段へつづく)

公安の実態を暴く

役員にスパイ強要

告訴との取引もちかけ

郵政労働者 成田二〇八八

はじめて使います。私は三月間、阻止決戦を闘い、東京拘置所に拘留されている全通労働者です。いつも「人民新聞」を送り入れてもらっていることに感謝します。そこで、何か役にたつことはないかと考えました。ありました。「公安の事態を暴く」という企画にピッタリの事を経験しました。

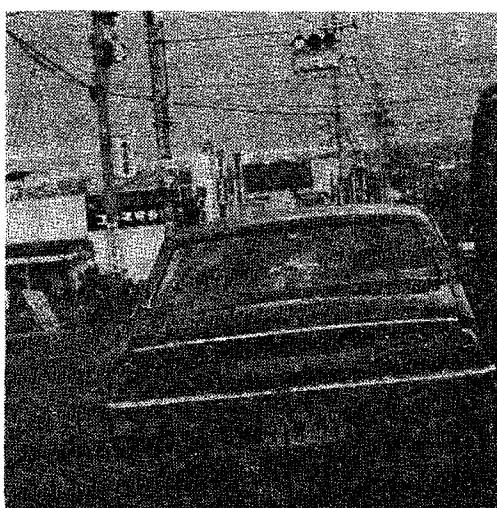
私は川崎市内にある中原郵便局に勤務中の（今は三原泰の件で解雇され民事訴訟を準備中）七六年来に全通中分支部は未加入者に対する全通加入オールの組織拡大闘争を行いまし

た。それと関係なく何人かの組合員がグループで未加入者に対し加入オールの活動をしています。このグループをいくつもつくるのです。

A君（集配分支部員）のグループが昨金曜（未加入）に前日オールの約束を破ったので、仕事終了後すぐオールの開始し

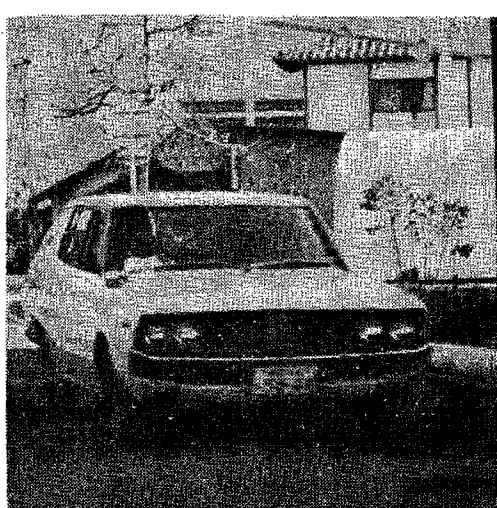
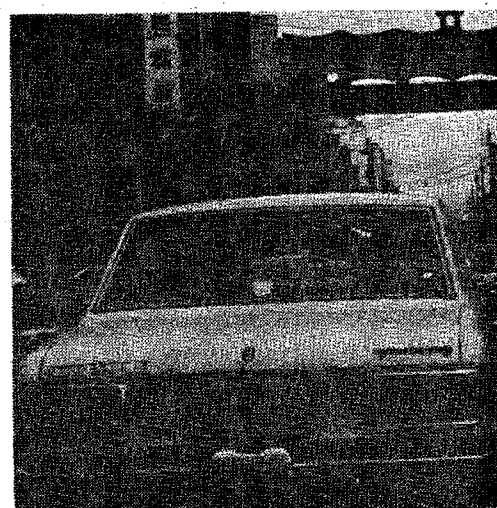
た。その時、私は長野原の警官から提供されたもので、警察は車を押さえてつけ回している。

車につけまわす警察

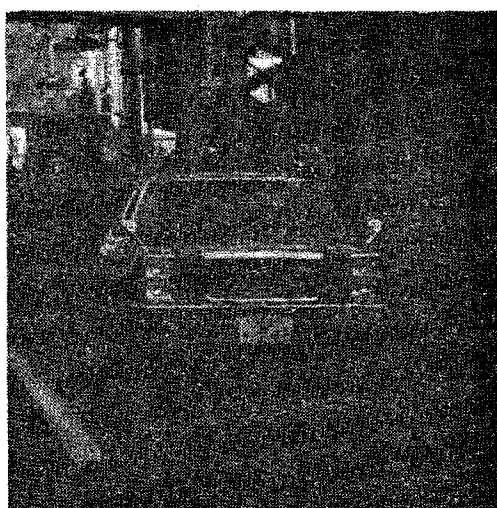
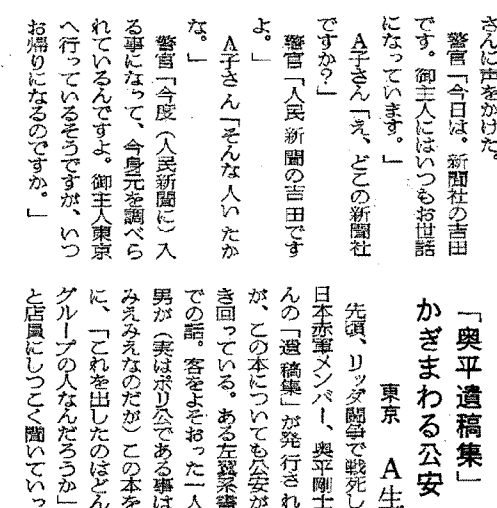


た。Bは局外に出て行き、自家用車のある駐車場へ行き車を乗りこんだ。つまりオールの約束を破った。そこでA君は「約束が破らなう」と車の前に立ち、だかっオールの対応

する。この公安がなぜか登場する。ここからはあとで聞いたハナシになる。公安から



支部長（全通川崎支部、中原分支部の上部機関）に電話が入り「是非会いたい」と。支部長は喫茶店へ何回か会った。その公安のハナシは「例の告訴のこと」はこうでもなります。時に、中原局には全通として困っている急進思想を持っているのが多い。支部長は「最近どうですか」とスパイを強要したのである。支部長は「どうも、右派の代表選手みたいな役員だが、



「奥平遺稿集」かきまわる公安
東京 A生
先頃、リッパ閣下で戦死した日本赤軍メンバー、奥平剛士さんの「遺稿集」が発行されたが、この本についても公安が動き回っている。ある左翼書店でこの本を客をよそった一人の男が（奥平は赤軍である事は、みえみえだが）この本を手に入れた。これを出したのってどんなグループの人なんだろうかと等と店員にきく。聞いていた

「情報と写真」
大阪 K生
この欄は、公安警察、公安調査庁、内閣調査室等の機密情報及びその権力の行使行為を人民の手で歴史的に記録するために設けられた。公安機関による尾行、はり込み、スパイの強要等の犯罪行為、市役所や郵便局での基本的な人権に対する侵害等、どんなささいな事でも暴露し、記録しておく。情報は日時、場所、飲の氏名、顔写真、現物写真など、できる限り詳しく具体的に。情報はすべて匿名で掲載し、情報源は編集部の責任で確実な防衛を思いつく。公安の実態を暴く（一）

読者の御協力に感謝
読者のみなさん、購読料をカンパを送りいただき、本誌にあらがうごまき。十二月下旬以降、本誌専任員は毎日、郵便がくるのを本気で待ち、毎日の仕事にはげんできました。郵便物が届くたびに、みんなで首をつきあわせ、購読料をカンパを送ってくれた読者の顔を思い浮かべ、アンケートはきくはげまじや批判について話し合ってきました。

自民党総裁選でもおもしろい話
京都 K生
先日、全通の友達と酒を飲んだ時面白い話を聞いた。先月の自民党総裁選の予備選挙の時、党本部から議員・党友のところに投票用紙が郵送された。これを配達するのは彼らだから、地域の自民党支持者が誰かを知ってしまつたというのだ。彼だけでなく他の連中も大いに關心

もあつたという。自民党総裁選は福田がひっくりかえつただけでなく、人民の側に組織実態をさらけ出すの副産物までついた。また、「俺達がつかんではいる人口は区役所のそれより五パーセント多い」と。つまり、住民登録してない人でも郵便物が届く限りわかるというところ。そして、どんな郵便物が届くかでどんな生活をしているか、も大体わかるという。」「どつ

アルバイト襲撃はとんでもない
郵政労働者 O生
東京で革マルが郵便配達のア

教組が「暴力学生」と実習妨害
京都 A生
今、一人の京大の学生が、大

から去って行った。その時Aさんが力メラを持っていかつたのが残念。それにしても何たるマヌケな警官、吉田さん、来られるものなら是非人民新聞社へ御出動下さい。